

惨事ミーティング用シナリオ(2026年3月組織4)

3. Bさん(26歳・男性・正社員)

26歳。独身、正社員。パン焼き、ハンバーガーのセット作りが主担当。

当日、Aが調子が悪く、いつもなら店長も厨房に入るのだが、店長も調子が悪いと言って、店のほうに行きがちで、大変忙しかった。花粉症がひどいということだった。

しかも、途中でZ社の人が修理作業をするので、動線も悪く、大変疲れていた。なぜか、自分でも手際が悪く、物を落とすなど、手際が悪くいらいらしていた。

自分も気分は悪かったが、大変さで、仕方がないと思っていた。吐き気も感じAさんに、お前も少し休め、休みながらやろうといわれたので、10分ぐらいで、交代しながら作業を続けていた。

昼すぎの忙しくなった時、Aさんが、休憩から帰ってこず、厨房が停滞していたので、どうしたのかな…と思っていたら、救急の人が入ってきて、店長と話し、作業が停止された。自分も問診され、救急車に載せられた。大したことはないと思っていたが、救急車に乗った段階で、吐いてしまった。

救急隊の人が無線で『COヘモグロビン血症の疑い、意識レベル清明なるも嘔吐あり、応病院を選定中』と話しているのを聞いて、得体の知れない病名に恐怖を感じた。店長が外で消防の人と揉めている声が聞こえて、こうなっても、非を認めないのか、といらいらするよりも、落ち込んだ。」

そのまま、一日入院した。入院して初めて、自分たちがどれだけ異常な場所にいたか気づいた。会社は、僕らの命を軽く見ている？

昨日から出勤して、いろんな報告や手続き、店の片づけをしている。店の今後について何も聞かされていない。店長は、わからない。申し訳ない、の一点張り。社長は何を考えているのか。